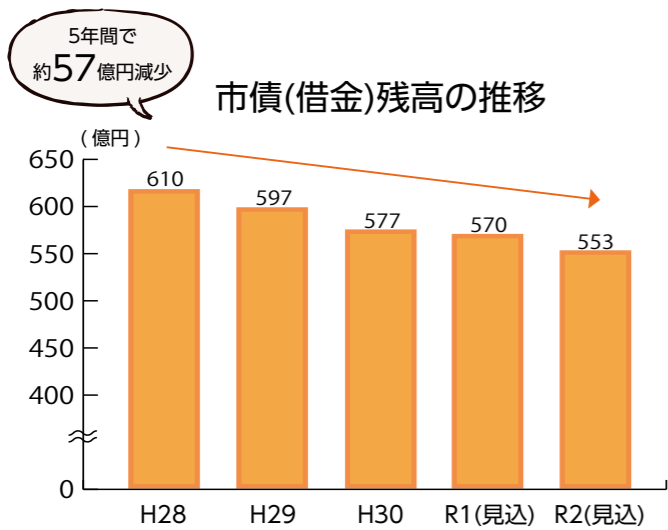


令和2年度 古河市の予算 513億円 (前年度比0.8%増)

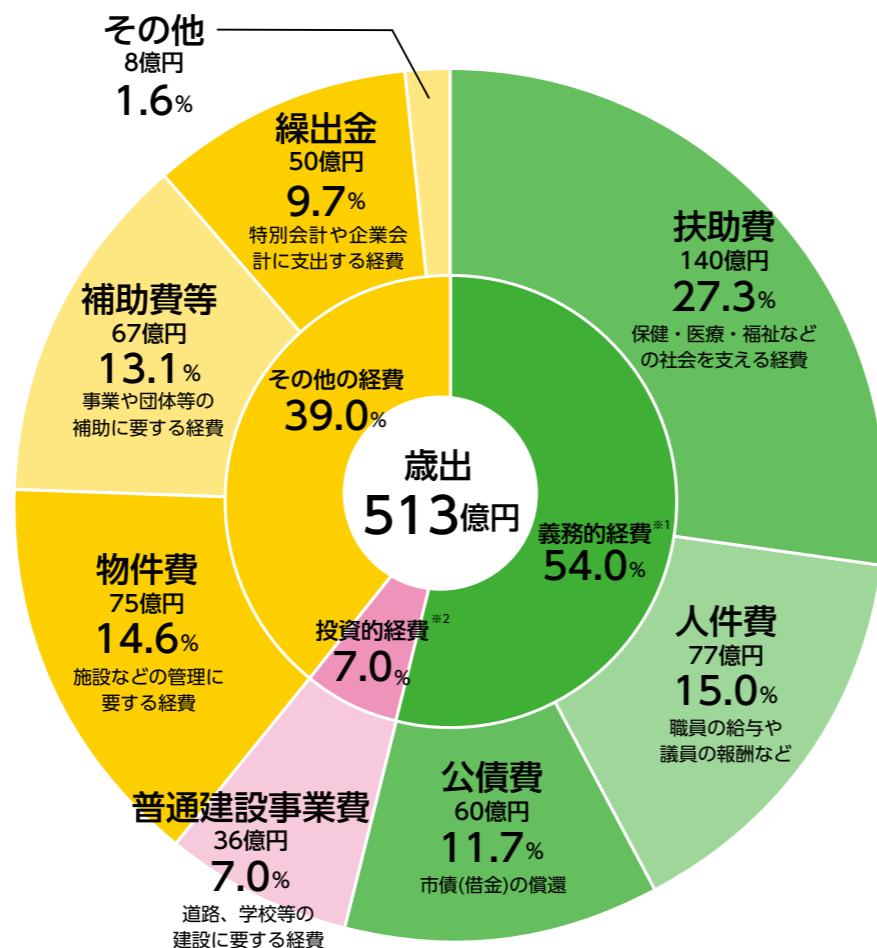
過去最高の予算額
災害に対する安心と安全を確保するための重点的な施策を

今年度の一般会計当初予算額は513億円。前年度と比較して4億円(0.8%)の増となり、過去最高となりました。その理由は、年々増加する「年金・医療・介護・子育て」などの社会保障費に加え、近年多発する自然災害から市民の安心・安全を確保するための対策や子育て支援施策などに対して重点的な予算配分を行ったためです。

今年度は、合併による「古河市」誕生から15周年を迎える記念すべき年であり「未来を育む進化の年」と捉えています。そのためにも、市民の皆さんがこれからも住み続けたいと思えるまちを目指していきます。



一般会計 歳出 ~古河市が支払うお金の内訳~



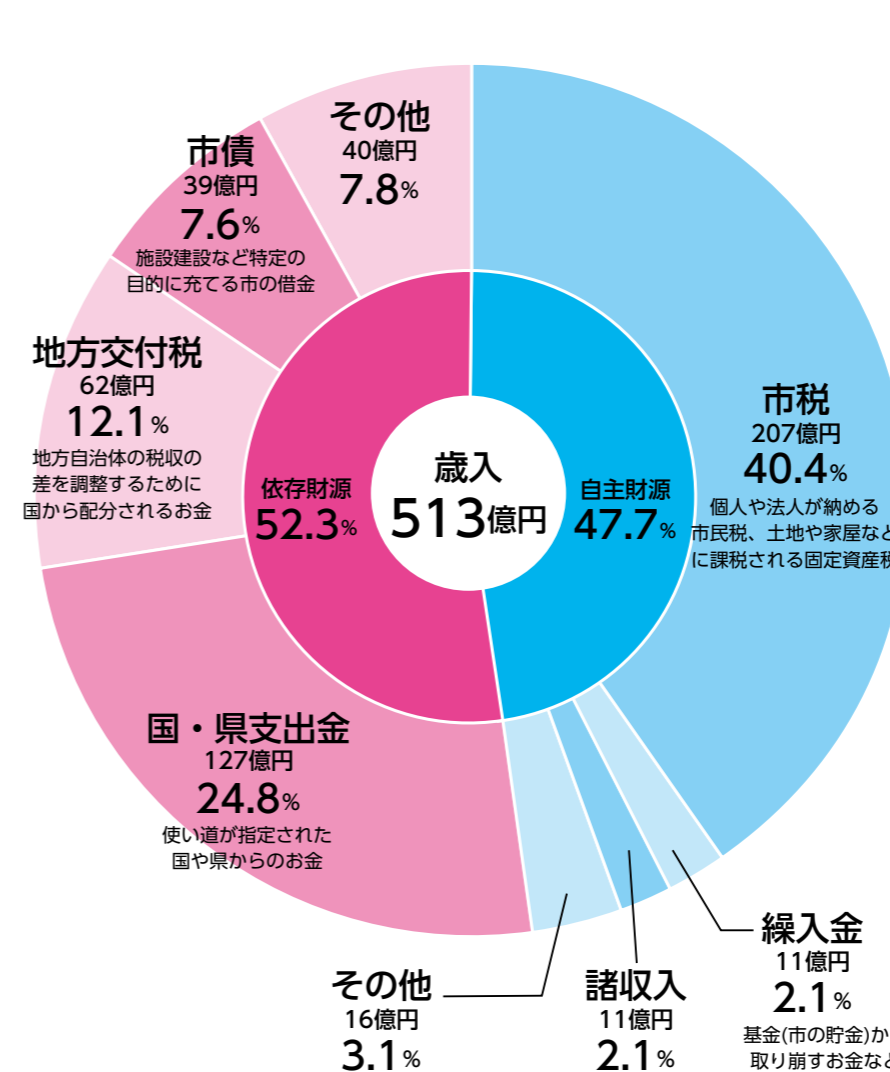
扶助費(保健・福祉等)の増加
子育て家庭への支援や高齢化による福祉費の増加により、5年前と比較すると約9億円増加しています
H28決算：131億円
R2当初：140億円 ← +9億円

さらに！
合併直後と比較すると約79億円増加しています
H18決算：61億円
R2当初：140億円 ← +79億円

POINT
持続可能な行政運営を
市債(借金)が将来の負担にならないよう、市債の抑制に取り組んだ結果、5年前と比較して約57億円も減少しています
H28決算：610億円
R2当初：553億円 ← -57億円

※1 義務的経費：支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費のこと
※2 投資的経費：道路や学校の建設費などの経費のこと

一般会計 歳入 ~古河市に入るお金の内訳~



市税は増加傾向
企業誘致・定住促進の成果もあり、市税は5年前と比較すると約12億円増加しています
H28決算：195億円
R2当初：207億円 ← +12億円

さらに！
合併直後と比較すると約31億円増加しています
H18決算：176億円
R2当初：207億円 ← +31億円

POINT
自主財源と依存財源とは？
市が自ら徴収するお金である自主財源に対し、国から定められた目的のために交付されるお金を依存財源と言います。そのため、自主財源の割合が大きいくほど、行政運営がしやすくなるとされています